

道路の健康診断、もう始めていますか？

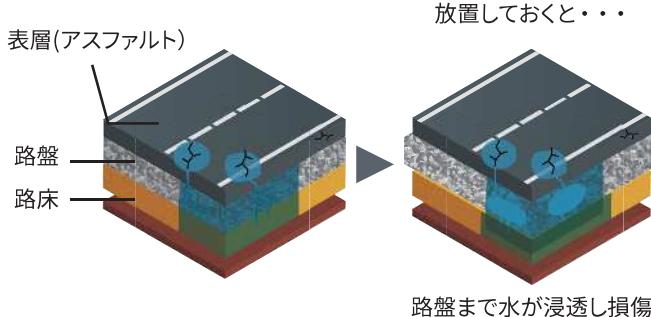
道路老朽化の実態と予防保全の重要性

道路の表面に現れるひび割れ

路面の小さなひび割れ。一見小さな問題に見えますが放置すると急速に状態が悪化し、大きな問題へと発展します。例えば、雨水がひび割れから侵入すると、路盤まで損傷が広がり最終的には、表層のアスファルトだけでなく路盤改良工事が必要になることもあります。



道路も人間と同じ！早期発見・治療が大切です



皆さんは定期的に健康診断を受けていますか？

病気は早期発見・早期治療が重要です。症状が軽いうちに対処すれば、治療も簡単で、費用も時間も最小限で済みます。

実は、「道路も同じ」なのです。

道路表面の小さなひび割れは、体の不調を知らせる初期症状のようなもの。この段階で適切な「治療」（修繕）を行えば、表層のアスファルトのみの修繕で済みます。しかし放置すると、ひび割れが拡大し、路盤まで破損の影響が及びます。

路盤まで損傷が進行すると

- » 修繕費用が通常の約3倍に増加
- » 工事期間が約4倍に長期化
- » 交通規制や夜間工事の追加コスト

※上記は可能性の一例です

by NTTインフラネット

目視による点検では

従来の目視点検では、点検者によって評価にばらつきが生じ、客観的で均質な診断が難しいという課題もありました。



走るだけで分かる！小型専用車両を用いた路面性状調査

最新技術で見える路面の健康状態

小型車両に搭載した専用機器により、法定速度内で走行しながら非接触で路面性状データを取得します。ひび割れ、わだち掘れ、平坦性（IRI）を同時に計測し、GPSによる位置情報、前方面像と合わせて高精度なデータを効率的に収集します。

交通規制が不要なため、安全かつ迅速な調査が可能です。



修繕費用を約1/3に抑制

損傷が路盤にまで及ぶと、修繕費用は高額化します。表層のひび割れを早期に発見して対応すれば、大幅なコスト削減が実現します。

工事期間を約1/4に短縮

路盤まで損傷が進行すると施工期間が長期化しますが、アスファルト層のみの修繕なら工事に伴う交通規制や騒音などの生活への影響を最小限に抑えることができます。

NTTインフラネットの路面性状調査

予防保全で実現する効率的な道路管理

小型専用車両による路面性状調査は、人の目では捉えきれない微細なひび割れも正確に検出し、道路の健康状態を科学的に診断します。これにより予防型の維持管理が可能になり、長期的な視点でのライフサイクルコストの削減につながります。計画的な予防保全は、道路資産の長寿命化と維持管理費用の最適化を同時に実現することができます。

5段階評価による明確な診断

路面の損傷状況を科学的に診断します。

ひび割れ率、わだち掘れ量、平坦性の評価結果を色分け表示し、舗装の健全度を視覚的に把握できます。

評価単位は10m～200mまで任意に設定可能で、詳細な分析ができます。



前方画像の同時取得でお手軽に確認

弊社は調査時に前方写真も同時に撮影しているため、調査時の周辺情報が確認できます。

また、調査結果とあわせて手軽に確認できるビューア機能についても、多くの自治体さまに好評です。

報告書も自動作成

調査結果は国土交通省の基準に準じた様式で自動作成され、Excel形式で出力されます。評価結果は地図上にマッピングされ、効率的な道路管理計画の立案に貢献します。

全国の自治体担当者さまが実感する導入効果



早期対応で修繕費用を大幅削減

寒冷で積雪量が多い地域では、凍結と融解を繰り返すため早期補修が重要です。路盤層まで傷んでおらず、表面のひび割れだけだったため修繕費用が約1/3で済みました。

A県 道路管理課

お客さまの声

NTTインフラネット調べ



観光シーズン前に工期半減で完了し安心した

わだちができやすい箇所の修繕により排水性能が向上し、ドライバーからも好評です。路盤の開削工事と比較して工期は約半分で完了し、観光シーズン前に間に合いました。

B町 道路維持課 課長補佐



道路の表面に現れるひび割れ

客観的なデータをもとに優先順位をつけた修繕計画により、限られた予算の中で効率的な補修を実現し、住民の理解も得られています。

C振興局 道路建設課 主幹

科学的な調査で道路寿命が延びたと感じる



定期的な調査と交通量データを基に舗装工法を見直した結果、道路寿命が延びたと感じます。科学的な調査なくして適切な維持管理はできません。

D県 道路維持課 課長

まずはお問合せください

エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社

TEL

03-6381-6446

Mail

sol_business@nttinf.co.jp